

一緒に遊ぼう！楽しもう！ ～ ぽかぽかさんとのふれあいタイム ～

野洲市	活動名：野洲幼稚園地域学校協働本部	野洲幼稚園	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：0人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・支援に入ってもらう時に、事前に保育の内容や意図、どんなことを支援してほしいのかを具体的に伝え、子どもがすること、保育者がすること、地域の方がすることを明確にする。
- ・協働活動後、振り返りの時間をとり、課題を次につなげる。
- ・今は、園所在の自治会中心に交流しているが、地域をどこまで広げて交流していくのか。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・運動会リハーサル、音楽会リハーサル、作品展などの園行事の見学
- ・ごっこ遊びへの参加(お店の準備の補助、お客さんになっていただく)
- ・食育活動補助、会食
- ・避難訓練の見学

■ 事業の成果・展望

- ・ごっこ遊びのお店準備をしたり、お客さんに来ていただいたりすることで、子どもの遊びへの思いやその後の遊びの発展を見ていただくことができ、子どもの発想のすばらしさに気づいてもらえた。
- ・運動会や音楽会などに見学に来ていただくことで、一年間の成長と3年間をとおした成長の過程を感じてもらえた。
- ・「たのしかったです」、「今度は、おでん作りにくるわ」、「落ち葉の掃除にまた来るし、いつでも言うてや」と声をかけてくださり、活動を継続していくことで少しずつ活動の内容が見え、浸透してきている。また、地域との距離が縮まってきているように感じる。
- ・協働活動に参加していただく方々の愛称を「ぽかぽかさん」に決めたことで、親しみももてるきっかけにもなり、子どもの中に浸透してきている。
- ・同じ方が何回か来てくださることで、名前をよんだり、積極的に話しかけたりし、親しみをもって関わる姿が見られる。



【 音楽会リハーサルの見学 】



【 おみせにお客さんが
きてくださいました 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

園長 教務主任 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(園長)

ぎおう大好きチャレンジ！ ～ぎおうを愛する心豊かな子どもを育てよう！～

野洲市	活動名： 祇王幼稚園地域学校協働本部	祇王幼稚園 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(学校運営協議会委員4名) ボランティア登録数：21人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 園行事支援 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

・子どもの姿や園の課題を話し合い、課題解決に向けた地域と園が協働して取り組むことができる活動を検討する。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○にっこり😊おはなし会の開催

- ・毎月第2木曜日に地域や保護者の読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせを行う。
- ・創立50周年記念として、音楽バンド「ピアーチェ」と一緒に、読み聞かせコンサートを行った。

○避難訓練(2次避難)の見守り、誘導、補助

- ・水害や大地震を想定し、2次避難場所(コミュニティセンターぎおう)への避難の見守り、誘導、補助をもらう。

○園児や保護者の活動サポート

- いもほり、ベルマーク収集・整理、保護者研修時の未就園児見守り。
- ・いもほりでは園児がより楽しめるように活動をサポートしてもらった。園児の保育に役立つようにとベルマーク収集にも力を注ぎ、保護者と一緒に整理作業もしてもらった。また、保護者が安心して研修できるように未就園児の見守りもしてもらった。

○地域めぐり

- ・年長児が西遊寺へ行き、自分たちの住む「ぎおう」についての紙芝居を通して関心をもち、地域の愛着へとつなげる。

○祇王学区老人クラブとの交流会(もちつき、正月あそび)

- ・昔ながらの体験あそびを通して、地域の方と交流する。



【 創立50周年記念式典で読み聞かせ～にっこり😊おはなし会 】



【 避難訓練 ～地域の方の見守り・誘導 】

■ 事業の成果・展望

○毎月1回のおはなし会では、少人数のグループに分かれて絵本の読み聞かせをしてもらうことで、家庭のような安らかな空間で自分の選んだ絵本を読んでもらう嬉しさを感じることができ、ボランティアの方と安心して関わることができた。おはなし会を通してより絵本を身近に感じ、読んでもらえる心地よさから、「絵本大好き」の気持ちにつながっていくと考える。また、園外でボランティアの方と出会うと、互いに声をかけ合うこともあり、子どもたち自身、地域とのつながりを感じることもできていると考える。

○避難訓練を地域の方とともに実施することで、防災について考えることができた。実際の災害時にも地域の方の力は不可欠であり、今後も様々な災害を想定した避難訓練の機会を通して、地域の方の協力も求めていき、大人も子どもも安心して過ごせる幼稚園づくりにつなげていきたい。

○ベルマークは家庭や地域で誰もがができるボランティアなので、保護者だけでなく、地域にも呼びかけてもらう工夫をもらった。直接園に関係していない地域の方も、間接的に関わりをもつことができ、園と地域のつながりを感じることができると考える。整理作業が大変なことから、今までのように保護者任せでは難しいので、時短の工夫をし、ともに整理作業もしてもらった。

○園児の活動サポートや交流会を通して、地域の方とふれあう機会をもつことで、温かい眼差し、言葉かけをもらうこともでき、自分たちが地域から大切にされ、愛されていることを実感できると考える。園の様子も知っていただくことで園への関心が高まり、つながりが深まると考える。

■ その他

○昨年度からの取組を活かすことで、より地域とつながることができた。地域の方は「ぎおう」を大切に思い、子どもたちのことを中心にして、活動支援やサポートをしてくださっている。そんな地域の方とふれあい、関わることで、子どもたち自身が、地域の温かさを感じることができると思う。子どもたちの姿や園の取組などを発信していき、子どもたちが自分の住む「ぎおう」に関心をもち、「ぎおうを愛する心豊かな子ども」を育てていけるよう、地域と連携・協働していきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

園長 教務主任 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(園長)

「すくすく・わいわい・ほかほか・わくわく北野っこをめざして」

野洲市	活動名：北野幼稚園地域学校協働本部	北野幼稚園	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：14人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・園児の実態から課題を明確にし、今年度、園が重点的に取り組んでいくことについて共有した。
- ・多岐にわたる園職員の業務の負担を少しでも軽減するために、地域や保護者はどんなことができるかについて協議した。



【 サポーターによるワックスがけ 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

◎幼稚園サポーター(グループ名称:わーぼす)の発足・活動開始

- ・園児が自己表出しながら主体的に活動できる力を身に付けていくために、また園職員の業務の負担軽減のためにできることについて協議し、幼稚園サポーターを発足させた。

保護者と地域の方にメンバー募集したところ、11名の保護者と3名の地域の方がメンバー登録をしてくださった。

- 活動内容
- ①園舎ワックスがけ
 - ②窓ふき
 - ③園内作品展の装飾作り
 - ④園で収穫した野菜を使ってスープの調理
 - ⑤卒園式の装飾作り

“わーぼす”のおかげで園職員の業務の負担軽減となった。

また、活動を通して保護者同士、保護者と地域の方がつながるきっかけとなった。

■ 事業の成果・展望

- ・今後もサポーターと協働していくことで、よりよい教育活動と園職員の働き方改革につながっていくことを期待している。
- ・いろいろな人との関わりの中で温かさを感じたり親しみをもったりすることができた。取組を継続していくことで、自尊感情の芽生えと、安心して自己表出できる力につながっていくと考えている。

■ その他

- ・今後も学校運営協議会のメンバーがそれぞれの立場からの意見を自由に出し合い地域、園、保護者にとってよりよい活動ができるよう、今後も熟議を進めていきたい。



【 サポーターによるスープ作り 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

園長 教務主任 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(園長)

★「中主大好きプロジェクト」～つながり中主・ぬくもり中主・はぐくみ中主～

野洲市	活動名：中主小学校地域学校協働本部	中主小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和2年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：200人(都度募集の延人数) ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 □その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

(1)学習環境の調整(協働活動のカリキュラムへの位置づけ)

「主体的に学ぶ子ども」を育てるためには、子どもたちが本物と出会い興味や関心をもつことが必要である。そのためにも机上での学びと、体験学習での経験を結びつけていくことが大切である。

- ・生活科や社会科、総合的な学習の時間の学習支援(中主のすてき発見、福祉学習や夢の種まき学習のゲスト等)
- ・環境学習支援(魚のゆりかご水田学習、ヨシの苗植え・定植・田植え稲刈り体験学習支援等)
- ・読み語りボランティアによる本の読み聞かせ

(2)子どもの安心・安全

「中主に住んでよかった」と生きがいを実感できる地域づくりをめざしたい。子どもたちに「中主のひとの温かさを感じながら育てほしい」「我がまち中主に誇りをもってほしい」

- ・「中主っ子見守り隊」(登下校の見守り)
- ・「おいでやす中主フェア」(学校を核とした地域住民の交流の場)



【 魚のゆりかご水田 】



【 おいでやす中主フェア 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○「おいでやす中主フェア」

昨年度、校舎増改築工事の終了に伴い、「おいでやす中主小フェア」がお披露目会として開催された。「1年で終わらせるのはもったいない。」「来年もまたやりたい。」と地域の協力者から多くの声が上がり、今年度からは「おいでやす中主フェア」と名称を変え、「学校における地域住民交流の場」として開催されることとなった。

地域で活動する団体、サークルや事業者、幼小中の保護者(PTA)も、それぞれの強みを生かしたブースを運営し、学区内外や市外からも含め 800 人強の来場者で盛大ににぎわった。校種や世代を越えたつながりが多く見られた。

■ 事業の成果・展望

今年度は、校舎内に地域学校協働活動の拠点となる「チュッピールーム」が開設された。「チュッピールーム」は、「集まる場」「つながる場」「生まれる場」としての活用をめざしている。積極的な地域発信をし、地域学校協働活動への理解者と新規の協力者を増やしていくことをめざす。



中主学区
マスコットキャラクター
「チュッピー」

■ その他

学校運営協議会を定例化して実施した。中主幼稚園や中主中学校の学校運営協議会と連携し、地域一体となつての取組を行っている。小学校の入学式の日に、幼稚園での預かり保育が制度的にできないという幼稚園での課題を中主学区協働本部で共有し、小学校での託児が実現した。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(教頭・地域学校協働活動推進員)

『好きです、篠原』～地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり～

野洲市	活動名：篠原小学校地域学校協働本部	篠原小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：35人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援、図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域学校協働活動の取組を、保護者、地域へ周知する。
- ・しのっこ応援ボランティアを募集する(学習支援、読書活動支援、学校環境整備等)。
- ・学校行事や各学年の学習と地域連携との関連の明確化を図る。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

(1)学校の地域研修

地域の方の案内・説明による全校遠足の下見、兼教職員の地域研修

(2)おしゃべり会

これまでのコミュニティ・スクールの取組の振り返り

(保護者ボランティア、篠原こども園教員、民生委員児童委員篠原学区協議会、人権啓発推進協議会、篠原小学校教職員が参加)

(3)学習支援

家庭科ミシンの使い方支援、千羽鶴づくり支援、平和学習(平和のパネル展示)、昔遊び

(4)農作物収穫体験活動

5年田植え・稲刈り体験、3年大豆植え・収穫体験

(5)環境整備活動

樹木剪定、運動場の草刈り、愛校活動支援、パンジー植え、運動会前日準備

(6)読書活動推進活動

朝の読み聞かせの実施(月2～3回の実施)、図書室の環境整備

(7)地域の文化祭と連携した図工の作品展示

コミセンしのはら「トトレレ&文化祭」と連携して、篠原こども園とともに「わくわくコンサート」を企画した。また、市青少年美術展入選作品や各学年の図工や書写の力作をコミセンしのはらに展示し、地域や保護者に広く見てもらった。

(8)登下校などの見守り支援

家庭教育支援員による不登校傾向児童の登校支援や授業中の等の見守り



【 地域・JA による5年田植え体験 】

■ 事業の成果・展望

- ・「おしゃべり会」では、直接顔を合わせて話すことで、地域、保護者、こども園、学校の思いを知り、つながりを深めることができた。
- ・「朝の読み聞かせ」については、活動が軌道に乗ってきており、子どもたちは楽しみにしている。本に親しみを持つ子が増え、読書活動が活発になってきている。
- ・『「できること」を「できるとき」に』の合言葉で「しのっこ応援ボランティア」を募集することにより、積極的に学校に関わってくださる保護者や地域の方が増えた。また、環境整備や学習支援に来てくださったときに、地域の方と子どもたちとのふれあいの機会も増えた。
- ・他市町のコミュニティ・スクールの取組についての研修を受けて、本校でも地域と学校のつながりが一覧で見ることのできる枠組みをつくる必要があるということになった。学校行事・各学年の学習と地域連携との関連がわかるように、本校の枠組みを作成する。
- ・地域や保護者に地域協働活動について親しみをもって取り組んでもらえるように、篠原らしいキャラクターをつくらうということになった。各家庭・子どもに向けてキャラクターの募集をする。



【 図書ボランティアによる朝の読み聞かせ 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(教頭)

「祇王大好きプロジェクト」地域とともに推進～地域に力を学校へ、学校の元気を地域に～

野洲市	活動名：祇王小学校地域学校協働本部	祇王小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：82人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 児童の安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

(1)働き方改革の推進

児童の安全安心の見守り(毎週水曜昼休み～そうじ時間の「祇王っ子ひまわり隊」による見回り)、PTAと協働した奉仕作業(草刈り・トイレ掃除)、行事の準備支援等

(2)よりよい学校づくりに向けた、児童との意見交流

学運協と児童との「しゃべり場」の実施



【学運協委員と6年生の「しゃべり場」】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

(1)学習支援

- 生活科や社会科、総合的な学習の時間等の学習支援 (九九マスター、福祉学習「人にやさしいまちづくり」、郷土学習「季吟さんに学ぼう」等)
- 環境学習支援(村田製作所とひまわりPJ、田植え稲刈り体験支援、森林環境学習「木育」)
- 人権学習支援(地域のカメラマンをゲストに、写真を通した4年生図画工作科の人権学習)
- 読み聞かせ支援(朝読タイムの地域サポーターによる大型絵本読み聞かせ)

(2)見守り&寄り添い支援

- スクールガードによる登下校支援、愛の声かけ運動
- 毎週水曜日昼休みの「祇王っ子ひまわり隊」による見まわり活動
- 家庭教育支援員による不登校傾向児童への寄り添い支援

(3)学校行事等支援

- 運動会や美術展準備手伝い

(4)環境整備支援

- 学校図書館環境整備(本の修繕、整頓、掲示物等)
- PTAと協働した夏の奉仕作業や校内トイレ掃除



【九九マスターにチャレンジ!】

■ 事業の成果・展望

- 身近な地域の方にゲストに来ていただいて話を聞いたり、一緒に活動したりすることで、より自分たちの地域や地域の人に愛着をもち、地域のよさを感じる学習に結びつけることができました。
- 地域学校協働活動推進員の尽力により、学校サポーターの登録人数が増え、学校支援室「ひまわりルーム」の利用数も増えた。特に、読み聞かせサポーターの数が増え、朝読タイムの絵本の読み聞かせが充実してきた。身近な地域の方に見守られ、支えられている雰囲気が出来てきたことは、大きな成果である。また、サポーターのリスト整理を行ったことにより、人材バンクが明確になり、次年度以降の支援の依頼がしやすくなった。
- 学習支援や安全サポートにより、児童の学習の充実とともに、不安感を減らし安心して学校生活を送れるための体制が整ってきた。
- 毎週水曜日昼休みの「祇王っ子ひまわり隊」の見守り活動により、児童も地域の方も互いに顔を覚え、気楽に声をかけ合う雰囲気が生まれ、たいへん効果的である。また、不登校傾向児童や家庭背景の重い児童への関わりが、児童の心の安定に繋がっている。
- 地域の方とのふれあいにより、その人柄にもふれ、温かいつながりができた。
- 学校の教職員だけでは手が回らないところに対し、学校運営の当事者として関わっていただき、教職員の負担軽減につながった。

〔課題〕

- 今後も、学校サポーターの登録人数を増やし、地域に開かれた学校づくりを進める。
- 地域の方への感謝の気持ちを常にもち、表現できる児童を育てる。
- 学校運営協議会と児童との意見交流「しゃべり場」を定例化し、大人も子どもも「祇王大好きプロジェクト」の実現をめざす。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(学校運営協議会、PTA)

報告書記入者 (教頭)

『やさしく、かしこく、たくましい三上っ子』を育てよう ～学校も地域もいきいきと元気に～

野州市	活動名：三上小学校域学校協働本部	三上小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:平成 25 年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数: 個人登録 38 人、スクールガード登録 174 人、同窓会役員9人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・校長が作成した学校教育目標・めざす子ども像について、委員から出てくる地域の実情・意見も踏まえて熟議、決定承認。
- ・目標達成に向けて、子ども・教職員・保護者・地域が各々するべきことについて熟議、具体的な取組について決定し実施できた。
- ・「みかみっこ未来団」団員加入を促進するとともに他団体、地元企業との協働活動も進んだ。
- ・教職員異動に左右されることなく働き方改革に資する「地域学校協働活動」の体制づくりに着手した。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

(1)学校運営協議会と教職員が合同校内研究会『三上のよさを発掘2！－三上の課題は－』

5月14日、昨年度に引き続き、郷土(地域)の自然・文化・歴史・人材等を生かした特色ある教育活動・体験活動等のカリキュラムの見直しをするため、学校運営協議会と学校で合同校内研究会を実施した。「三上っ子のよさ」、「三上学区のよさ」だけではなく、「三上の課題」についても、意見を出し合い共通認識をもつとともに、課題解決に向けての方策についても話し合った。高齢化が進む三上地域において、学校を核としながら「学校も保護者も地域もいきいきと元気になる取組を進めることが必要」という思いが一致した合同校内研究会となった。

(2)交通安全協会とPTAが協働で「とびだし坊や」を作成

8月23日、地域の交通安全と子どもたちの命を守る取組として、「とびだし坊や」をPTAと三上地区交通安全協会が協働して作成した。子どもたちにとって自分で作った「とびだし坊や」が地域にあることで、交通安全に対する意識が高まった。PTA会費ではなく、交通安全協会の予算から材料費を捻出してくださったことは持続可能な地域学校協働活動のモデルケースになる。

(3)「天保義民祭」「天保義民フィールドワーク」「土川平兵衛の生き方に学ぶ」

10月3日には、「天保義民土川平兵衛顕彰会」会長をゲストティーチャーとして迎え、土川平兵衛ゆかりの地を巡りながら学びをすすめることで、「天保義民土川平兵衛」の生き方から自分自身の生き方について深く考えることができ、有意義なキャリア教育にもなった。

毎年10月15日に実施される「天保義民祭」に市長をはじめとする地域の皆様とともに6年生児童26名全員が一人ひとり献花を行い、出席したことで地域の皆様の「天保義民」に対する思いを実感することができた。

(4)『三上に生きる私たちの「今」と「これから」』市長・教育長に提案・懇談－野州市ドコでもトークー

2月20日、市長と教育長、市議員、行政職員、地域住民、保護者のみなさんを迎え、三上学区の課題(高齢化等)について、6年生が考えまとめたことを提案、協議する場を設定した(野州市ドコでもトーク)。6年生は、自分たちにできることについてデータをもとにしっかり考え、すべての人が生きやすい社会にするための提案ができた。発表前に、学校運営協議会委員にリハーサルを見ていただき、提案についてアドバイスをもらい修正して本番に臨めたことは子ども・地域双方にとって大きな経験になった。



【学校運営協議会委員と教職員が一緒に、学校を核としながら、高齢化が進む三上地域全体がいきいきと元気になる方策を検討中！】



【天保義民祭に参列
地域住民の熱い思いを実感】

■ 事業の成果・展望

- ・学校と地域が「三上のよさ」「三上の課題」についてともに考えることで、学校を核として協働活動を推進する意識が高まった。
- ・地域と子どもが話し合ったりして協働する活動が増えたことで、「三上っ子のよさ」がより深く理解され地域に浸透した。
- ・みかみっこ未来団総会を2月18日に開催し、次年度支援計画を地域で協議できたことはCSを持続可能にする第一歩となった。

■ その他

・学校ホームページで、地域学校協働活動を「三上小学校日記」で紹介している。



←(三上小学校 HP)

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(家庭教育支援員)

報告書記入者(校長)

「わたし ひと まち」が大好きな野洲っ子の育成を学校とともに…

野洲市	活動名：野洲小学校地域学校協働本部	野洲小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:令和5年度(学校応援団活動は平成24年から) 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:60人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域で子どもたちにどのような力をつけていきたいか。
→つきたい力に関わっての研修会の実施、次年度学校経営案立案に生かす
- ・「学校応援団」が担ってきた教育活動の支援事業をどのような形で引き継いでいくか。
→次年度の活動の重点

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・各学年の校外学習の引率補助
- ・5、6年生 家庭科授業指導補助(手縫い、ミシン縫い)
- ・3年生 社会科昔のくらし学習支援
- ・4年生 江州音頭体験(講師)
- ・委員会活動支援(図書委員会)
- ・3、4年生 そろばん学習活動補助



【 6年生家庭科 ミシン縫いの支援 】

■ 事業の成果・展望

(1)成果

○地域の人の支えがあることで

- ・児童は安心して学習することができた。(以下、ミシン縫い支援6年生の感想)
「担任の先生一人だと、聞きたいときにすぐに聞くことができず、ためらってしまう。けれども、ボランティアさんがいてくださると、わからないことをすぐに聞いてうれしい。」「近くで見守ってくださっているの、安心してミシン縫いができる。」
- ・学校図書館の運営の仕事を、児童はやりがいを感じて行っている。
- ・学校にとって、支援が必要な児童への支援が充実した。
- ・より豊かな学習、教育活動を行うことができた。

○地域住民にとっては

- ・学校に行って子どもたちと接することで、学校への理解を深め、生きがいを見出してくださっている。
- ・音楽科・体育科の学習に関わって、4年生に江州音頭を教えてくださいました。講師として来てくださったボランティアの方が運動会も参観に来てくださり、子どもたちが上手に江州音頭を踊っているのを見て、喜んでくださいました。



【 学校図書館
図書委員・図書担当とともに 】

(2)展望

- ・活動の母体となっていた「学校応援団」が、市の事業終了とともに解団となった。今後は、学校運営協議会で、応援団が大切にしてきた精神を引き継いでいくことになった。
- ・「より多くの地域の方に、気軽に学校に足を踏み入れてもらいたい」、「学校や教職員の力になりたい」という思いを実現できるような仕組みづくりが課題である。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

・「野洲っこ応援団」<https://www.city.yasu.lg.jp/school/yasushogakuunkyo/1586762384602.html>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(校長)

コミュニティ・スクール 3年目 子どもの視点を広げる学校づくりへ

野洲市	活動名：北野小学校地域学校協働本部	北野小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:88人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他[学校図書館の椅子再生体験、バザー]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域学校協働活動を通じてのよりよい学校、地域づくりへのありかたを協議する。
- ・学校・地域の双方向の関係に向けて具体プランづくり
- ・地域(企業)との連携活動の具現化について協議し、実現できた。
- ・スクール・アイデンティティ(キャラクターマスコット「キッター」)を活用した。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- 地域と学校(児童・教職員)とのつながり
 - 学習支援(家庭科、校区探検協力、生活科:サツマイモ栽培、調理実習 等)
 - 読み聞かせ(全クラス1回/年、10分/回、昼休み後)
 - 環境整備(除草活動、学級園(畑)整備、植栽整備)
 - その他(給食エプロン修繕、活け花、賞状筆耕、講師手配)
 - 「図書館プロジェクト」(恒常的な学校図書館の環境整備活動)
 - 「見守り活動」(登校時)



【 5年生 はじめてソーイング 】

- 地域と保護者とのつながり
 - ①学校応援団の呼びかけと活動
 - ②「親子でチャレンジ！椅子再生体験」(学校図書館の環境整備に親子で参画)

○学校運営協議会委員である企業との連携
 3年生(総合的な学習の時間)・4年生(理科)・5年生(理科)・6年生(理科)において出前授業を理科の学習がある全ての学年で計画・実践。

■ 事業の成果・展望

- ・授業支援の依頼に際し各授業のめあてや支援のあり方について情報共有しておくことで、ボランティアの目的意識を醸成した。教職員と十分に打合せしておくことが、ずれのない支援につながる。
- ・授業支援後はボランティアの意見等を集約し、逐次報告を担当教職員に届けるようにした。結果、継続支援が必要な授業において、回を重ねるごとに授業改善が図られ、教職員との相互理解が進んだ。
- ・学校の環境整備、授業支援について、事業は不可欠なものとなっている。
- ・企業連携による「出前授業」については、学校単独ではできない貴重な授業体験を、子どもたちにコミュニティ・スクールの利点として還元できたと考えられる。校区内に県立高等専門学校が創設される機運の高まりとともに、地域(企業)とともに歩む本校の方向性を保護者にも発信できた。
- ・企業間連携については、「出前授業」から「合同授業」としてさらに工夫していきたい。
- ・来年度は校舎の大規模改修に伴い、仮設校舎での学習となる。クラブ活動の場所についてコミュニティセンターを活用させていただく予定である。この際に地域の方のゲストティーチャーとしての参加も視野に入れて今後連携していきたい。



【 企業連携 京セラ出前授業で 】

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・今年度も漢字検定をコミュニティセンターきたのを会場として実施した。昨年度より回数や参加学年を拡大しての取組である。今後、受検者についても保護者、地域の高齢者まで拡大させ、「地域行事」として定着させていくため、学校運営協議会とのさらなる連携と協議が必要である。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(教職員)

報告書記入者(教頭)

「地域とつながる中主っ子」

野州市	活動名：チュッピーの会	中主中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務0人) ボランティア登録数：20人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他[あいさつ運動]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- (1) 目指すビジョンについて
学区で大切にしていこうことの確認
- (2) 学校の現状と課題解決について
課題解決に向けての熟議の実施
- (3) 地域学校協働活動について
チュッピーコミュニティサークル(中学生のボランティアサークル)の活動計画
- (4) 学校予算について
今年度の予算計画、次年度の予算要求



【 届けよう！チュッピーカップケーキ 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

「学校と地域のつながり」

- チュッピーコミュニティサークル(中学生のボランティアサークル)
 - ・チュッピーフェア、中主フェアへのバザー出展
 - ・チュッピーカップケーキづくり
 - ・アーモンドの木の植樹
 - ・暑中見舞いハガキ、年賀状づくり
 - ・幼稚園への読み聞かせ活動
 - ・小中合同あいさつ運動
- 環境整備
 - ・夏季休業中の除草活動
 - ・校内の花壇の整備
- 子どもの見守り
 - ・昼休みの見守り
 - ・生徒とのふれあい

「学びのつながり」

- 学習支援
 - ・「キラキラ中主タウン」実施にあたって自治会と連携
 - ・特別支援学級栽培活動
 - ・長期休業中の地域貢献活動
- 読書活動
 - ・図書室の環境整備、運営、見守り



【 中主フェアバザー出展 】

■ 事業の成果・展望

地域の支えを受けながらチュッピーコミュニティサークルを中心に、生徒の自主的な活動に取り組むことができた。その中で地域の方とのふれあいや、温かい声掛けにより、地域の一員としての実感を得ることができた。また、地域の方からも、生徒との関わりや活躍を喜んでいただいている様子や感謝の声もいただくことができた。

今後も生徒自ら地域の一員であるということを自覚し、自分の住む地域との関係性を見つめ直し、将来を担う生徒の自発的な活動に発展させることを大切にしたい。年間計画の中で、地域と関連つけた教育活動を進め、全校生徒や教職員が参画しやすい取組を進める。また、防災活動訓練などを学校だけでなく、地域とともに取り組めるよう検討する。

■ その他

中主学区マスコットキャラクター「チュッピー」にちなんで、毎月第一火曜日を「チュッピーの会(地域学校協働活動会議)」として、学校運営協議会委員を中心に、活動のあり方や具体的な取組について検討している。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(教務主任・学校事務職員)

報告書記入者(学校事務職員)

学校と地域で子どもを育てる体制のさらなる充実をめざして

野洲市	活動名：野洲中学校地域学校協働本部	野洲中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：15人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他[地域や保護者とともに学ぶ人権学習]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに 印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(学区人権教育推進協議会)

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- 学校経営方針について、地域学校協働活動年間計画、めざす子どもの姿の共有
- 推進体制づくり、地域と学校でできること(やってみたいこと)、学校評価
- 学校運営上の課題、地域学校協働の課題と今後の取組等



【 絵本読み聞かせ活動 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

・ひまわりプロジェクト

市内企業である村田製作所が実施しているひまわりプロジェクトに参加し、支援学級の生徒が校区内のこども園の園児とひまわりの種まき、栽培、種の収穫を協働して行い、企業への種を送る活動を通して地域への参画と社会認識力を高める。

・絵本の読み聞かせ

中学生が夏休みと冬休みの2回、校区のこども園に行き、園児に絵本の読み聞かせを行ったり、遊びを通して交流したりする。事前に読み聞かせの講習会を行い、当日には読み聞かせと遊びでの交流を通じて、つながりと保育の大切さを育む。

・3年保育学習 ～ Hug Baby ～

近江八幡市、野洲市を中心に、教育機関等へ訪問し、赤ちゃんとのふれあい活動や、定期的子育て交流会を行っているボランティアグループである「Hug Baby」を招いて、3年家庭科の授業で、赤ちゃんと一緒に出前授業の取組を行う。この学習の先生は、小さな「赤ちゃん」。生徒は命の大切さや性についての理解を深める。

■ 事業の成果・展望

・ひまわりプロジェクトでは、種まきから栽培、種の収穫、そして企業へ種を届けるまで、長期的な計画を立てることで、生徒が目的意識をもって活動し、地域や人と関わる経験を重ねることができた。また活動を通じて、社会を身近に感じることもできた。また園児との関わりの中で、生徒たちが園児たちに教えたり、園児たちを支えたりするなど、他者と関わることで達成感や有用感を感じる場面が見られた。来年度以降も、支援学級の大切な学びとして、活動を継続していく。

・読み聞かせでは、絵本の読み聞かせだけでなく、パネルボードに貼られた絵やキャラクターを使って物語を語るパネルシアターの講習も受けて、丁寧な準備をして当日を迎えた。生徒たちは、明るく楽しく読み聞かせを披露することができた。その後の園児との遊びでは、園児が中学生を取り囲み、地域のお姉さん、お兄さんとして園児と楽しく接する姿が見られた。卒業しても読み聞かせを続けたいと、地域とつながる思いを育むことができた。今後も、活動を継続したい。

・3年保育学習では、生徒たちは学校では接することがほとんどない赤ちゃんを優しく抱っこしたり、視線を合わせて遊んだりして、表情が緩んでこやかになり、ホッとする瞬間をみんなで共有することができた。赤ちゃんとのふれあいを通して、保育について学ぶとともに、「性は生である」というお母さんの思い、そして一人ひとりがかげがえのない存在であることを学び、命の尊さを実感することができた。



【 ひまわりプロジェクトでの交流 】

■ その他

- ・オレンジガーデンプロジェクトでは、人権研究会の生徒がマリーゴールドを育て、地域の老人保健施設の訪問や、認知症サポーター講座に取り組んだ。
- ・年明け1月には校区のシンボルである近江富士(三上山)への登山を行い、郷土を知り、ふるさと野洲を愛する気持ちを醸成した。三上学区青少年育成会議の後援を受けて実施。多くのサポーターとともに三上山を登り、下山後は、豚汁をご賞味させていただいた。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに 印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(各活動に関わる担当教職員)

報告書記入者(教頭)

地域と学校の思いを結び、確かなつながりを創出する協働体制

野洲市	活動名：野洲北中学校地域学校協働本部	野洲北中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：0人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・環境整備について協議し、グラウンドの周りの草木の伐採を実施している。
- ・部活動の地域展開について協議し、実証実験に参加の方向の確認を行った。
- ・生徒が地域で活躍する場について協議し、具体的な参加について確認を行った。
- ・教職員との協働研修会を開き、学校の強み・弱みを話し合い、協働できることの企画案を出し合った。



【 販売の様子 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・クラウドファンディングを実施し、学校行事や部活動支援を行った。
- ・地域のまちづくり協議会と協働して、グラウンドの大規模除草作業を実施した。
- ・生徒が自分の住む地域での地域行事や、運動会の役割を担い貢献活動を実施した。
- ・社会福祉協議会「みんなち」とサッカー部・野球部の部員と、グラウンドの木のツルを協働で刈る作業を行った。
- ・生徒による、野洲北中マスコットキャラクター「きたちゅーくん」ファイルの販売し、部活動支援につなげた。
- ・幼稚園・こども園に絵本の読み聞かせ活動を生徒が実施した。その際に練習を地域の方をお願いして、円滑に活動できた。

■ 事業の成果・展望

- ・地域の中で、中学生が果たす役割は大きく、継続的な活躍の場が用意されるようになった。
- ・クラウドファンディングを通じて、地域や保護者から多大な支援をいただいた。
- ・事業での取組は新聞社にも取り上げられ、地域において活動が目目されるようになった。
- ・生徒が地域の方と協働で作業や販売をする中で、頼りにされ感謝の言葉をいただいたことで自己肯定感が上がり、学校生活が活力溢れるものになり、「自分もやりたい」と参加する生徒が増えていった。
- ・地域住民からは、中学生の思いや考えを知り、「自分が協力できることをしたい」と協力を申し出てくださる方が増えた。
- ・学校運営協議会委員が主体的に考え、広い視野で物事を判断し、行動していくことで、地域学校協働活動の活動範囲やつながりも増えたので、今後の活動の幅が広がった。



【 ツル刈りの様子 】

■ その他

活動の紹介はホームページのコミュニティ・スクールをご覧ください。
<https://www.city.yasu.lg.jp/school/yasukita/news/7372.html>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(教頭)